

平成31年度 自己評価内容

学校法人 高岡学園
高岡幼稚園

1. 本園の教育目標・方針

本園の教育目標は、健康で、明るく素直な、思いやりのある子供を育成するとし、教育基本法の幼稚園教育要領に従い、良い環境の中でいろいろな活動を経験することにより、幼児一人ひとりの人格形成を促し、心身ともに健全な成長を遂げるよう保育を進めることを教育方針としています。

幼児が健康な心と体を形成するため、集団生活を通じて支え合って生活する心を育み、自ら経験した事や考えた事を言葉で表現する、創造性を豊かにするなど相互に調和しながら発達することを本園の基本方針としています。

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

本園を取り巻く社会の動きや保護者のニーズに対応するとともに、幼児教育の重要性を認識し、常に教育内容の改善に努めることを目標としています。

園舎建替え工事に伴い、3学期に園庭のない環境での子どもたちに代わりになるような環境づくりを教職員で検討し実践していく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育課程の見直し	園庭のない環境での、教育課程の見直しを行った結果、それぞれの学年に応じた取り組みに課題が見受けられました。改めて教育課程の見直しを行い建替え期間中の保育内容確認と振り返りに取り組む予定であります。
教職員の資質向上	教職員の日常報告会において、学年やクラスの保育の取り組みについて振り返りや反省に重点を置いて話し合い、共通意識を持つことにより全教員の資質向上に取り組んでいきたい。
未就園児活動	夕方の園庭開放のほか、月2回の2歳児クラスの「りんご組」を継続的に開催し、保育内容を見直し、より一層楽しんでもらえるように改善しました。また、平日の午前中開催で園庭開放と保育室利用の「いちご組」を継続し活動内容の充実を図りました。
預かり保育の充実	長期休暇中、土曜日の預かり保育実施に加え行事等による代休日の預かりを行い、より就労により長時間の預かり保育希望者にも対応できるように体制を整えることができました。

4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教職員一人ひとりが幼稚園評価の趣旨を理解しつつ、園舎建替え工事による環境の変化がある中での保育の進め方、子どもたちの心のケアなどさまざまな点で問題意識を持って取り組むことの必要性を感じています。建替え工事は来年度も継続されるため、より良い環境づくりを考え、達成できるように進めていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理体制の整備	危機管理マニュアル、防犯対策などを周知し、園で起こりうる様々な事故の対処方法や災害への対応の仕方を理解し、すべての教職員が実践できるように努めます。
園庭のない保育について	遊戯室の室内遊び、近隣の公園を利用した保育方法の計画と実施。
研修と研究	各教諭に必要な研修への参加が出来るような配置を考え、日常の保育・教育にいかにかかすかが今後の課題であります。

6. 学校関係者の評価

概ね良好な運営がなされているとの評価を頂戴しましたが、園舎建替え工事に伴う子どもたちの運動不足やこころのケアが心配とのご意見もありました。

7. 財務状況

監事監査及び公認会計士監査により、計算書類は適正に表示している旨の監査報告書を受領しています。